

## 会議録

会議の名称	西東京市使用料等審議会 平成21年度第2回会議
開催日時	平成22年1月8日（金曜日） 午後2時00分から午後2時45分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	小藤田委員 町田委員 森岡委員 山田委員 米田委員 事務局：池田企画部長 柴原企画政策課長 植竹企画部主幹 名古屋生活環境部長 青柳ごみ減量推進課長 河合ごみ減量係長 高橋清掃係長 三村統括技能長 藤澤主査 高橋主任
議題	1 西東京市使用料等審議会第1回会議録について 2 西東京市一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）の改定に関する諮問について 3 その他
会議資料の名称	資料1 手数料原価計算書 資料2 26市の家庭ごみ処理手数料の状況 資料3 可燃・不燃ごみとプラスチック容器包装類の主な処理経費（平成20年度）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 第1回会議録の確認について 異議なし</p> <p>議題2 西東京市一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）の改定に関する諮問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長から米田会長へ諮問</li> </ul> <p>（諮問内容、経過、手数料金額について説明） （資料1～3）</p> <p>事務局：</p> <p>諮問は一般廃棄物処理手数料（プラスチック容器包装類）の金額を、現行1リットル当たり2円から1円とする内容。金額は「西東京市廃棄物減量等推進審議会」の答申に基づき、可燃ごみ・不燃ごみの処理手数料より低額とするもので、資料1により1リットル当たりの経費を算出した。「西東京市使用料・手数料等の適正化に関する基本方針」に定める、公費負担と受益者負担の割合区分「基礎的で非市場的なサービス」で設定されている上限の「30%」をご負担いただくとすると、1リットル当たり1.02円という計算になる。</p> <p>他市の状況は資料2のとおりで、可燃ごみ・不燃ごみとプラスチックごみで手数料に差をつけている市は、無料が5市、半額が2市という状況。西東京市は「西東京市廃棄物減量等推進審議会」における議論を踏まえ、発生抑制の観点からも無料化は考えておらず、この諮問によりプラスチック容器包装類の分別・資源化をより一層促進し、併せて不燃ごみの減量を図るものである。</p> <p>委員：</p> <p>有料化により、ごみが減量された。プラスチックごみの処理手数料を半額にすることでのごみ排出量の変化の見込みは。</p>	

事務局：

プラスチックごみの手数料を不燃ごみより低額にすることで、不燃ごみに混ざっているプラスチックごみを排出してもらおう。プラスチックごみは増え、不燃ごみは減る見込みである。

委員：

プラスチックごみが多く出るので安くなるのはよいと思う。不燃ごみとプラスチックごみの分別は難しく悩むときがある。不燃ごみが安易に安いプラスチックごみに行くことはないか。

事務局：

この2年間の取組みの中で、ごみの分別・リサイクルに対するご理解は一定いただいているが、さらに周知を進めていく。

委員：

不燃ごみ処理の最終的な負担と、将来の環境のことを考えると、焼却するのとリサイクルをするのでは、どちらがいいのか。リサイクルが完全にできるのなら、そちらに出してもらった方がいいと思う。

事務局：

不燃ごみに混ざっているプラスチックごみは焼却され、灰として処分場に行く。分けた場合は資源化され工業製品に使われる。CO2のこともあり、なるべく燃やさない考え方で取り組んでいる。

委員：

資料3の影響額の説明を。

事務局：

プラスチックごみの処理手数料を半額にすることで、廃棄物処理手数料収入が8,500万円の減となる。

委員：

手数料改定の実施時期はどうか。

事務局：

平成22年度、半年間を周知期間とし、10月から実施したい。

委員：

減収は半年分だが、一般財源から持ち出しが増える。財政当局との調整の結果、手数料改定ができなくなることはないか。また、一部事務組合負担金などの支出が減る分はどうなったか。

事務局：

財政当局とは現在調整中である。柳泉園・処分場は持込が減れば負担が減るが、負担金の額に反映されるのは2年前の分である。平成20年度の有料化によりごみが減って、平成22年度は下がっているが、プラスチックごみを半額にした影響は先になる。

委員：

負担金の関係もあって、単純に8,500万円収入が減るというわけでないことが分かった。

委員：

料金改定により焼却するごみが資源化に流れることはいいことだ。将来的に8,500万円の減収が0になるかもしれないが、当面は本来できるはずだった8,500万円分の事業ができなくなると思うので、そこはマイナスインパクトにならないようにしてほしい。

事務局：

予算編成中であり、審議会の答申を踏まえ全体の収支を考えながら最終的な判断をしたい。分別資源化を進め、ごみ減量化を推進するもので、将来8,500万円に見合うコストダウンが見込まれる。ご意見の趣旨は理解している。

委員：

ごみをきれいにしないと資源化できないということもあるので、分かりやすく、プラスチックごみに出しやすい広報をお願いします。

事務局：

チラシを出したり、エコプラザで展示するなどしているが、準備期間をとおしてプラスチック

ごみに出しやすいよう案内していきたい。

委員：

商品に処分の仕方が書いてあった方がいいが、業者をお願いできないか。

事務局：

ブラマーク等がついているが、分かりやすい表示についての要望は、市長会を通じてやっている。

委員：

越境ごみの問題はあるか。

事務局：

有料化当初はあったが今はほとんどない。市民の目もあり不法投棄する人は少なく、西東京市民は概してマナーが良いと感じている。

委員：

来週までに意見を事務局に寄せ、次回とりまとめとしたい。

次回審議会の日程は、2月1日（月曜日）午後3時とする。